

地域共通・流域別の代表的な取組実績

項目		取組数	代表的な取組
地域共通の取組	きれいな水	10	生活排水処理施設の整備（污水人口普及率） 平成 27 年度：1.6%増（前年度比） 行動計画（第 2 次）：1.6%増（H25→H27） 行動計画（全 体）：5.3%増（H21→H27）
	豊かな水	3	森林の整備・保全（間伐面積） 平成 27 年度：2,397ha 行動計画（第 2 次）：7,367ha（H25～H27） 行動計画（全 体）：19,109ha（H21～H27）
	多様な生態系	4	干潟・浅場の保全・再生（造成面積） 平成 27 年度：1.1ha 行動計画（第 2 次）：3.6ha（H25～H27） 行動計画（全 体）：4.6ha（H21～H27）
	ふれあう水辺	2	河川・海岸清掃（参加人数） 平成 27 年度：23,237 人 行動計画（第 2 次）：79,700 人（H25～H27） 行動計画（全 体）：179,636 人（H21～H27）
流域別の取組	豊川・天竜川等流域	21	分収育林事業（整備面積） 平成 27 年度：32.9ha 行動計画（第 2 次）：99ha（H25～H27） 行動計画（全 体）：197ha（H21～H27）
	三河湾沿岸 （豊川・蒲郡等）	9	小学校訪問授業・野外体験授業（実施回数） 平成 27 年度：1 回 行動計画（第 2 次）：9 回（H25～H27） 行動計画（全 体）：18 回（H21～H27）
	三河湾・外海沿岸域 （渥美半島等）	14	海浜の清掃活動等（実施回数） 平成 27 年度：54 回 行動計画（第 2 次）：158 回（H25～H27） 行動計画（全 体）：206 回（H24～H27）

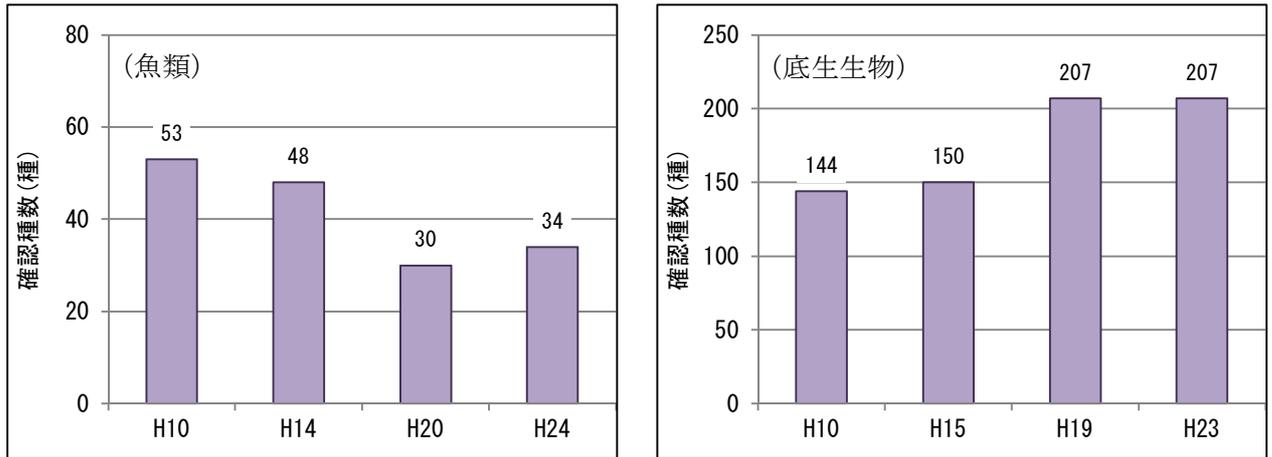
参 考

○ 水循環機能からみた、健全な水循環を取り戻すための取組の進み具合

水循環機能「多様な生態系」

豊川で行われた河川水辺の国勢調査(H10～)による、魚類・底生動物の確認種数は図1のとおりです。

確認された種の中には、比較的美しい水で生息する魚類のアユやウグイ等と底生動物のカワゲラ類やヒラタカゲロウ類等がありました。



備考：H20、H24の魚類、H19、H23の底生動物は重要種を除く種数。

図1 河川水辺の国勢調査による豊川の確認種数の推移

出典：水情報国土データ管理センター 河川環境データベース

## 水循環機能「きれいな水」

東三河地域を代表する河川の水質汚濁の指標となる生物化学的酸素要求量(BOD75%値)によると、多くの河川で近年は環境基準値を下回り、さらに水質の改善傾向が伺えます。あいち水循環再生基本構想策定(H18.3)以後も同様の傾向がみられ、水質の浄化が進んでいます。

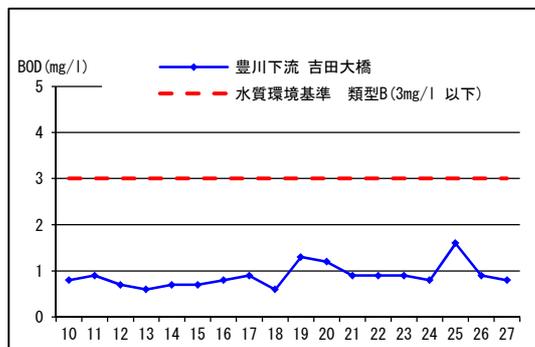


図2 豊川下流の水質(BOD75%値)

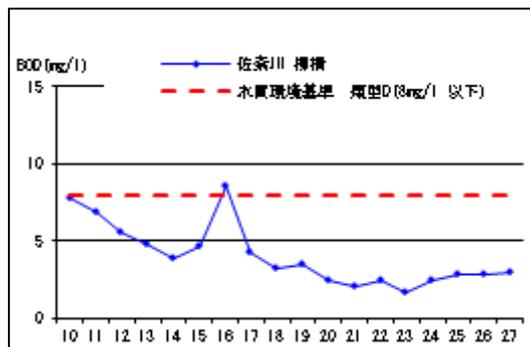


図3 佐奈川の水質(BOD75%値)

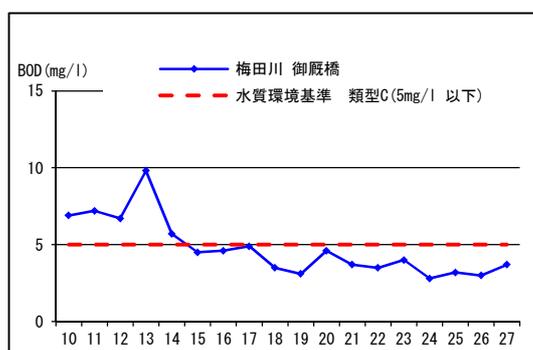


図4 梅田川の水質(BOD75%値)

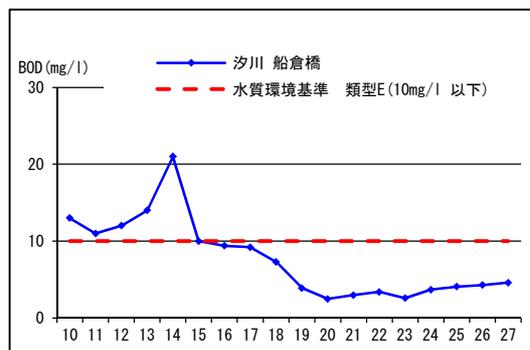


図5 汐川の水質(BOD75%値)

東三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	実績							指標とする項目を報告する機関	指標の説明			
	取組内容	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績					
きれいな水	<b>生活排水処理施設の整備 汚水処理全体</b> 下水道や農業集落排水処理施設等を整備するとともに、合併処理浄化槽の普及を図るなどにより生活排水対策を推進する。	汚水処理人口普及率(%)	汚水処理人口普及率(%)	県下水道課	汚水処理人口普及率=汚水処理人口/行政人口×100								
		82.8%	83.5%	84.1%	85.6%	86.5%	86.5%	88.1%					
	<b>下水道の整備</b> 生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備及び適正な維持管理を推進する。	下水道普及率(%)	下水道普及率(%)			県下水道課	下水道普及率=下水道処理人口/行政人口×100						
		65.2%	65.8%	66.2%	67.2%	67.7%	68.2%	68.6%					
	<b>高度処理施設の導入(下水道整備の内)</b> 公共用水域の水質保全のため下水道施設の高度処理を促進する。	高度処理人口普及率(%)	高度処理人口普及率(%)			県下水道課	高度処理人口普及率=高度処理人口/行政人口×100						
		36.2%	36.7%	36.8%	44.9%	45.3%	45.7%	46.8%					
	<b>農業・漁業集落排水施設の整備</b> 農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集落排水施設の整備及び適正な維持管理を推進する。	農業集落排水処理人口普及率(%)	農業集落排水処理人口普及率(%)			県農地整備課	農業集落排水処理人口普及率=農業集落排水処理人口/行政人口×100						
		5.7%	5.6%	5.6%	5.6%	6.0%	6.0%	6.2%					
	<b>合併処理浄化槽の設置</b> 既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)			県水地盤環境課	合併処理浄化槽処理人口普及率=合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 合併処理浄化槽の基数割合=合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100						
		11.7%	11.8%	12.1%	12.7%	12.6%	12.0%	13.1%					
		合併処理浄化槽の基数割合(%)	31.0%	33.6%	35.0%	36.0%	37.3%	38.3%	39.3%				
	<b>コミュニティプラントの整備</b> 生活環境の改善、公共用水域の水質保全のためコミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	コミュニティプラント処理人口普及率(%)			資源循環推進課	コミュニティプラント処理人口普及率=コミュニティプラント処理人口/行政人口×100						
		0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%					
<b>干潟・浅場の保全・再生</b> 多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	各構成員	干潟・浅場を造成した面積			
	1ha	-	-	-	1.5ha	1.0ha	1.1ha						
<b>河川等公共用水域水質監視</b> 公共用水域の水質常時監視を実施する。	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	河川(BOD)の環境基準達成率(%)	県水地盤環境課	河川BOD(東三河地域のみの)環境基準達成率 海域COD(混美湾のみ)の環境基準達成率			
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%						
	海域(COD)の環境基準達成率(%)	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%					
<b>水生生物調査</b> 水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	豊橋河川事務所 県水地盤環境課	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数			
	27箇所	20箇所	41箇所	33箇所	31箇所	28箇所	37箇所						
	延べ参加人数(人)	598人	491人	775人	616人	598人	668人	591人					
<b>河川・海岸の清掃</b> 河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数			
	70回	67回	68回	183回	172回	178回	167回						
	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数						
	120箇所	102箇所	103箇所	113箇所	138箇所	170箇所	134箇所						
	延べ参加人数(人)	27,962人	20,960人	20,961人	30,053人	29,294人	27,169人	23,237人					
<b>森林の整備</b> 水源かん養機能などの多面的機能を高度に発揮する森林の整備・保全等を推進する。	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	間伐面積(ha)	県森林保全課	間伐を実施した面積			
	2,729ha	3,246ha	3,246ha	2,521ha	2,608ha	2,362ha	2,397ha						
	<b>雨水貯留・浸透施設の設置(浄化槽の転用を含む)</b> かん養機能向上のための雨水貯留浸透施設の設置を推進する。	雨水貯留施設の設置数			各構成員	構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数							
20基	9基	10基	51基	41基	35基	31基							
	雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数	雨水貯留浸透施設設置補助件数					
	100件	61件	62件	113件	116件	98件	54件						
<b>透水性舗装の推進</b> 歩道等における透水性舗装を推進する。	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備面積(m <sup>2</sup> )	各構成員	構成員が施工した透水性舗装の面積			
	11,619m <sup>2</sup>	4,508m <sup>2</sup>	1,415m <sup>2</sup>	5,589m <sup>2</sup>	4,943m <sup>2</sup>	1,450m <sup>2</sup>	965m <sup>2</sup>						

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績						指標とする項目を 報告する機関	指標の説明	
		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績			平成27年度実績
多様な生態系	<b>多自然川づくり</b>	整備延長(km)	県河川課	県内全域での実績						
	・ 河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km		
	<b>干潟・浅場の保全・再生(再掲「きれいな水」)</b>	干潟・浅場造成面積 (ha)	各構成員	干潟・浅場を造成した面積						
	・ 多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	1ha	-	-	-	1.5ha	1.0ha	1.1ha		
	<b>水生生物調査(再掲「きれいな水」)</b>	実施箇所数	県水地盤環境課	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数						
	・ 水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	27箇所	20箇所	41箇所	33箇所	31箇所	28箇所	37箇所		
		延べ参加人数(人)								
		598人	491人	775人	616人	598人	668人	591人		
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b>	実施回数(回)	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数						
	・ 河川・海岸の清掃を行う。	70回	67回	68回	183回	172回	178回	167回		
	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数			
	120箇所	102箇所	103箇所	113箇所	138箇所	170箇所	134箇所			
	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)			
	27,962人	20,960人	20,961人	30,053人	29,294人	27,169人	23,237人			
ふれあう水辺	<b>多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)</b>	整備延長(km)	県河川課	県内全域での実績						
	・ 河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	-	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km		
	<b>河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)</b>	実施回数(回)	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数						
	・ 河川・海岸の清掃を行う。	70回	67回	68回	183回	172回	178回	167回		
		実施箇所数								
		120箇所	102箇所	103箇所	113箇所	138箇所	170箇所	134箇所		
		延べ参加人数(人)								
		27,962人	20,960人	20,961人	30,053人	29,294人	27,169人	23,237人		

東三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績						
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
<b>豊川・天竜川等流域</b> 【課題】 ○豊川放水路では赤潮の発生による水質の悪化が見られる。 ○宇連川下流域においては平年的に水濁れ状態となり、河川環境への影響が見られることがある。 ○水源域である森林は森林の手入れ不足を防ぐための取組が重要となっている。 【目標】 ☆森づくりによる美しい自然と健康で豊かな生活環境との調和 <上流部> ○自然と良好な景観・清流の保全 <中下流> ○動植物の生息・生育環境の保全と環境学習、人とのふれあいや安らぎの空間としての利用	森づくり	<b>水源地域の森林整備</b> ・(財)豊川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。 豊橋市、豊川市、浜岡市、新城市、田原市、牧原町、東栄町、豊根村、栗土地水質協議会 ※報告機関：県土地水資源課	開伐面積 (ha)	402.6ha	394.7ha	493.3ha	399.6ha	410.6ha	342.6ha	339.8ha
		<b>豊川流域の森林整備</b> ・間伐や下草刈りなどの森林整備を行う。 NPO種の国森づくりの会	整備面積 (ha)	5ha	5ha	5ha	5ha	5ha	5ha	5ha
		<b>里山づくり</b> ・里山の下草刈りを行う。 ・里山を活用した観察会や交流会を行う。 朝倉川水フォーラム	整備面積 (ha)	-	3ha	-	-	-	-	2ha
			実施回数 (回)	12回	12回	12回	12回	19回	15回	14回
			延べ参加人数 (人)	100人	150人	150人	350人	570人	500人	300人
		<b>分収育林事業</b> ・水源林の保全・かん養に「分収育林」という形でお手伝いする。 ・上・下流域の交流を通じて相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。 蒲郡市、田原市	整備面積 (ha)	32.9ha	16.1ha	32.9ha	16.7ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha
		<b>間伐材の利用促進</b> ・間伐材の利用を通じて水の大切さ、水源林保全の大切さを訴えとともに、上下流域の交流を図る。 蒲郡市	事業費 (円)	920,000円	856,738円	920,000円	920,000円	920,000円	830,000円	920,000円 (滑り台・積み木セットを7セット)
		<b>間伐材の利用促進</b> ・豊根村木サイクルセンターが間伐材(原木)買取時に1本あたり50円上乗せする。 豊根村	実施回数 (回)	2回	1回	1回	2回	1回	-	-
			本数	6,980本	7,976本	5,405本	4,345本	795	-	-
			材積							
	<b>小学校訪問授業・野外体験授業</b> ・小学校への訪問事業や野外体験事業を実施する。 NPO種の国森づくりの会	実施回数 (回)	7回	3回	8回	11回	9回	15回	21回	
	<b>豊川流域における上下流交流</b> ・下流域である蒲郡市民と上流域の新城市民(鳳来地区)、設楽町民が相互に訪問して、相互の環境・文化等を理解するための交流を行う。 蒲郡市、田原市	実施回数 (回)	5回	5回	4回	9回	8回	9回	9回	
		人数 (人)	約156人	356人	731人	467人	966人	984人	1,250人	
	<b>豊川流域における上下流交流</b> ・交流拠点施設ふれあいの館(グリーンメッセージ・設楽町(旧津具村地内)宿泊者数。 田原市	宿泊者数 (人)	1,798人 (うち市民は459人)	1,445人 (田原市民374人)	1,342人 (市民は591人)	2,002人 (市民は1,295人)	1,621人 (市民は884人)	1,702人 (市民は970人)	1,832人 (市民は1,031人)	
	郷づくり	<b>畜産環境対策の推進</b> ・家畜排せつ物の適正な管理を進めることで畜産経営による周辺環境対策を推進する。 豊橋市	実施内容	豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	畜産堆肥の成分分析(養豚農家0件) ホームページによる情報発信	家畜排せつ物処理施設の修繕費補助(補助件数2件)	家畜排せつ物処理施設の修繕費補助(補助件数3件)
		<b>湿原の保全</b> ・巡視・下草刈りなど湿地・湿原の保全整備を行う。 新城設楽振興事務所、東三河総局	実施内容	補修・除草回数 (回)	1回	1回	1回	1回	2回	2回
			見回り回数 (回)	54回	54回	54回	54回	54回	54回	54回
	まちづくり	<b>合流式下水道の改善</b> ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。 豊橋市	吐き口対策スクリーン(きょうげつ物除去装置)の設置	-	2箇所	2箇所	4箇所	-	スクリーン設置(2箇所)	-
		<b>三河湾浄化フェアの開催</b> ・水質浄化啓発事業の一環として、三河湾浄化フェアを開催し、水環境改善へ向けた意識を啓発する。 豊橋市	延べ参加人数 (人)	-	2箇所	2箇所	4箇所	-	スクリーン設置(2箇所)	-
		延べ参加人数 (人)	・アクアフェスタ2009: 3,000人 ・530のまち環境フェスタ: 10,000人	・アクアフェスタ2010: 2,500人 ・530のまち環境フェスタ: 10,000人	530のまち環境フェスタ: 5,000人	530のまち環境フェスタ: 5,000人	530のまち環境フェスタ: 6,500人	530のまち環境フェスタ: 5,000人	530のまち環境フェスタ: 7,500人	

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績							
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
豊川・天竜川等流域	まちづくり	<b>豊川流域における体験学習</b> ・ 夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通して学習する。 ・ 申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	実施回数(回)	4回	4回	5回	5回	4回	8回	5回
				実施箇所数	-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所
				延べ参加人数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人
				延べ参加人数(人)	3,300人	3,280人	2,300人	3,100人	2,850人	3,221人	2,500人
	川・里海づくり	<b>朝倉川の清掃活動</b> ・ 河川の清掃を行う。	朝倉川育水フォーラム	延べ参加人数(人)	3,300人	3,280人	2,300人	3,100人	2,850人	3,221人	2,500人
				ごみの量(kg)	9,000kg	3,000kg	3,800kg	3,500kg	3,110kg	5,510kg	2,200kg
				実施回数(回)	3回	4回	8回	8回	8回	7回	4回
				実施箇所数	36箇所	44箇所	39箇所	37箇所	45箇所	68箇所	73箇所
	川と海とのクリーン大作戦	・ 河川の清掃を行う。	豊川市、新城市、豊橋河川事務所 (報告機関:市町村)	延べ参加人数(人)	4,826人	8,062人	4,904人	4,905人	2,766人	4,362人	5,078人
				実施回数(回)	2回	2回	2回	2回	1回	1回	1回
				実施箇所数	23箇所	20箇所	21箇所	21箇所	10箇所	13箇所	39箇所
				延べ参加人数(人)	3,958人	4,215人	3,869人	4,153人	2,199人	1,602人	2,576人
	しんしろクリーンフェスタ	・ 河川の清掃を行う。	新城市	実施回数(回)	20箇所	15箇所	26箇所	27箇所	24箇所	19箇所	30箇所
				延べ参加人数(人)	454人	441人	607人	535人	512人	551人	486人
				実施箇所数	2回	3回	2回	3回	1回	1回	1回
				延べ参加人数(人)	30人	50人	50人	40人	10人	20人	50人
	水生生物調査	・ 水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、豊橋河川事務所、 県水地盤環境課 (※報告機関:豊橋河川事務所、 県水地盤環境課)	観察会実施回数(回)	4回	4回	5回	5回	4回	8回	5回
				実施箇所数	-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所
				延べ参加人数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人
				延べ参加人数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人
ホテルの飼育・観察	・ 豊橋の環境改善の象徴として、市街地を流れ多くの市民に親しまれている朝倉川に、環境の指標生物であり人々の郷愁をささうホテルがかつてのように自生する状態を実現することを目指し、市民・企業・行政の三者のパートナーシップにより河川の再生と地域環境改善を図るための具体的活動を行う。	朝倉川育水フォーラム	観察会実施回数(回)	2回	3回	2回	3回	1回	1回	1回	
			延べ参加人数(人)	30人	50人	50人	40人	10人	20人	50人	
			実施回数(回)	4回	4回	5回	5回	4回	8回	5回	
			実施箇所数	-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所	
<b>豊川流域における体験学習(再掲)</b> ・ 夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通して学習する。 ・ 申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	実施回数(回)	延べ参加人数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人	
			実施箇所数	-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所	
			延べ参加人数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人	
			延べ参加人数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人	
<b>川に関する出前講座</b> 小学校や中学校で、川の役割(治水・利水・環境)と身近な川について紹介する出前講座を実施する。	豊川市	平成24年度から追加	実施回数(回)	5回	2回	-	5回	-	5回		
			実施箇所数	5箇所	2箇所	-	5箇所	-	5箇所		
			延べ参加人数(人)	95人	209人	-	95人	-	107人		
			延べ参加人数(人)	95人	209人	-	95人	-	107人		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績						
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
三河湾沿岸域 (豊川・蒲郡等)	森づくり	<b>分収育林事業(再掲)</b> ・水源林の保全・かん養に「分収育林」という形でお手伝いする。 ・上・下流域の交流を通じて相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。	蒲郡市、田原市	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)
				32.9ha	16.1ha	32.9ha	16.7ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha
		<b>間伐材の利用促進(再掲)</b> ・間伐材の利用を通じて水の大切さ、水源林保全の大切さを訴えようとするとともに、上下流域の交流を図る。	蒲郡市	事業費(円)	事業費(円)	事業費(円)	事業費(円)	事業費(円)	事業費(円)	事業費(円)
				920,000円	856,738円	920,000円	920,000円	920,000円	830,000円	920,000円 (滑り台・積み木セツ)
		<b>小学校訪問授業・野外体験授業</b> ・小学校への訪問事業や野外体験事業を実施する。	NPO種の国森づくりの会	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
				4回	3回	1回	1回	4回	4回	1回
		<b>豊川流域における上下流交流(再掲)</b> ・下流域である蒲郡市民と上流域の新城市民(鳳来地区)、設楽町民が相互に訪問して、相互の環境・文化等を理解するための交流を行う。 ・下流域の田原市民と上流域の設楽町民との相互理解を深めるため、訪問等による交流事業を行う。	蒲郡市、田原市	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
				5回	5回	4回	9回	8回	9回	9回
				人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)	人数(人)
				約156人	356人	731人	467人	966人	984人	1,250人
	<b>豊川流域における上下流交流(再掲)</b> ・交流拠点施設ふれあいの館(グリーンメッセージ・設楽町(旧津具村地内)宿泊者数。	田原市	宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	
			1,798人 (うち市民は459人)	1,445人 (田原市民374人)	1,342人 (市民は591人)	2,002人 (市民は1,295人)	1,621人 (市民は884人)	1,702人 (市民は970人)	1,832人 (市民は1,031人)	
	郷づくり		-	-	-	-	-	-	-	
	まちづくり	<b>蒲郡市井戸掘り事業助成金</b> ・井戸水の効率的利用の促進のため、公益的目的の井戸掘りに助成する。	蒲郡市	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
			-	-	-	1件	1件	-		
川・里海づくり	<b>港湾環境整備事業</b> ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	三河港務所	整備率(%)	整備率(%)	整備率(%)	整備率(%)	整備率(%)	整備率(%)		
				0.1%	-	-	-	-	-	
	<b>浅瀬窪地の修復</b> ・三河湾に点在する浅瀬窪地等を埋め戻して修復を図り、貧酸素水塊の発生を抑える。 ・埋め戻しには、三河港内で発生する浅瀬土砂を活用する。 ・砂質系浚渫土による覆砂を行う。	三河港務所	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)		
			5.3ha	5.4ha	5.3ha	3.5ha	2.9ha	1.6ha	1.0ha	
川・里海づくり	<b>水生生物調査</b> ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (報告機関: 県水地盤環境課)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
				6箇所	4箇所	7箇所	5箇所	6箇所	8箇所	6箇所
				延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)
			105人	16人	67人	72人	77人	107人	100人	

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績								
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績		
三河湾・外海沿岸域 (渥美半島等)	森づくり	小学校訪問授業・野外体験授業 ・小学校への訪問事業や野外体験事業を実施する。	NPO徳の国森づくりの会	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) 1回	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) -		
		畜産環境対策の推進(再掲)	豊橋市	実施内容 豊橋市バイオマススタウン推進事業 ホームページ運用	実施内容 豊橋市バイオマススタウン推進事業 ホームページ運用	実施内容 豊橋市バイオマススタウン推進事業 ホームページ運用	実施内容 豊橋市バイオマススタウン推進事業 ホームページ運用	実施内容 豊橋市バイオマススタウン推進事業 ホームページ運用	実施内容 畜産堆肥の成分分析 (養豚農家4件) ・ホームページによる情報発信	実施内容 畜産堆肥の成分分析 (養豚農家4件) ・ホームページによる情報発信	実施内容 畜産堆肥の成分分析 (養豚農家4件) ・ホームページによる情報発信	
	【課題】 ○汐川干潟は、渡り鳥の飛来地 であるとともに、多くの干潟の生 物が生息し、海域の水質浄化に 寄与することから、干潟の保全・ 再生の取組が重要となっている。	郷づくり	田原市バイオマススタウン構想の策定・推進 ・畜産排せつ物の適正処理及び有効利用の推進を通じて、河川の水質 汚染防止、土壌の地力回復、悪臭防止等、地域の生活環境を保全すると ともに、バイオマスエネルギーとしての利用を図り、積極的なCO2抑制に 資する。	田原市	堆肥化施設等の補助件数 -	堆肥化施設等の補助件数 1件	堆肥化施設等の補助件数 4件	堆肥化施設等の補助件数 5件	堆肥化施設等の補助件数 -	堆肥化施設等の補助件数 3件	堆肥化施設等の補助件数 1件	
			汐川水質改善行動計画の実施 ・「たはらエコ・ガーデンシティ推進計画」で課題としてあげられている「汐 川、三河湾の水質汚濁」を改善するため、平成18年3月に策定した行動 計画に基づき効果的な対策を講ずる。	田原市	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%
			合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリン、遮集管、雨水貯留施 設等の設置を行う。	豊橋市	実施内容 -	実施内容 -	実施内容 -	実施内容 -	実施内容 ・スクリーン:2箇所 ・貯留施設:1箇所	実施内容 スクリーン設置:2箇所	実施内容 -	実施内容 -
	三河湾・外海沿岸域 (渥美半島等)	【目標】 ☆人と自然が共生する汐川 干潟 ☆自然景観に恵まれた川 ○貝類や野鳥が沢山みられ、 人が安心して関わりのある干 潟 ○環境に配慮した農業の推進 による河川などの汚濁の改善	汐川水質改善行動計画の実施(再掲) ・「たはらエコ・ガーデンシティ推進計画」で課題としてあげられている「汐 川、三河湾の水質汚濁」を改善するため、平成18年3月に策定した行動 計画に基づき効果的な対策を講ずる。	田原市	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%
			梅田川ふれあいクリーン作戦 ・水質浄化啓発事業の一環として、地域、民間企業及び市の協働によ り、梅田川の水質改善に向け、「梅田川ふれあいクリーン作戦」を実施す る。	豊橋市	延べ参加人数(人) 1,600人	延べ参加人数(人) 1,600人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 雨天中止
三河湾浄化フェアの開催(再掲) ・水質浄化啓発事業の一環として、三河湾浄化フェアを開催し、水環境 改善へ向けた意識を啓発する。			豊橋市	延べ参加人数(人) ・アクアフェスタ2009:3,000人 ・530のまち環境フェスタ:10,000人	延べ参加人数(人) ・アクアフェスタ2010:2,500人 ・530のまち環境フェスタ:10,000人	延べ参加人数(人) 530のまち環境フェスタ:5,000人	延べ参加人数(人) 530のまち環境フェスタ:5,000人	延べ参加人数(人) 530のまち環境フェスタ:6,500人	延べ参加人数(人) 530のまち環境フェスタ:5,000人	延べ参加人数(人) 530のまち環境フェスタ:7,500人	延べ参加人数(人) -	
海岸環境整備事業 ・砂浜の保全・再生を図るため離岸堤、突堤の整備や養浜を行う。			東三河農林水産事務所	離岸堤基数(基) 整備済み離岸堤 3基	離岸堤基数(基) -	離岸堤基数(基) -	離岸堤基数(基) -	離岸堤基数(基) -	離岸堤基数(基) -	離岸堤基数(基) -	離岸堤基数(基) -	
汐川水質改善行動計画の実施(再掲) ・「たはらエコ・ガーデンシティ推進計画」で課題としてあげられている「汐 川、三河湾の水質汚濁」を改善するため、平成18年3月に策定した行動 計画に基づき効果的な対策を講ずる。		田原市	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%	環境基準達成月数率(%) 100%		
梅田川ふれあいクリーン作戦(再掲) ・水質浄化啓発事業の一環として、地域、民間企業及び市の協働によ り、梅田川の水質改善に向け、「梅田川ふれあいクリーン作戦」を実施す る。		豊橋市	延べ参加人数(人) 1,600人	延べ参加人数(人) 1,600人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 1,500人	延べ参加人数(人) 雨天中止		
サーフィン世界大会交流会 ・サーフィンの世界大会を開催することにより、世界の人人々が交流を深め るとともに、サーファー、釣り人、アカウミガメ等が共存する「自然の豊か さ」や「環境保全の重要性」を再確認する。		田原市	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) 1回	実施回数(回) 1回	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) -		
延べ参加人数(人) -		延べ参加人数(人) -	延べ参加人数(人) -	延べ参加人数(人) 15,378人	延べ参加人数(人) 26,878人	延べ参加人数(人) -	延べ参加人数(人) -	延べ参加人数(人) -	延べ参加人数(人) -			
海浜の清掃活動等 ・サーファー、釣り人、アカウミガメ等が共存する「自然の豊かさ」や「環境 保全の重要性」を再確認するとともにビーチクリーン活動、子ガメの放流 会を実施する。		田原市	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) -	実施回数(回) 48回	実施回数(回) 46回	実施回数(回) 58回	実施回数(回) 54回	実施回数(回) -		
実施箇所数 -		実施箇所数 -	実施箇所数 -	実施箇所数 15箇所	実施箇所数 15箇所	実施箇所数 15箇所	実施箇所数 15箇所	実施箇所数 17箇所	実施箇所数 -			
水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (報告機関:県水地盤環境課)	実施箇所数 1箇所	実施箇所数 1箇所	実施箇所数 8箇所	実施箇所数 1箇所	実施箇所数 1箇所	実施箇所数 1箇所	実施箇所数 1箇所	実施箇所数 1箇所			
延べ参加人数(人) 39人	延べ参加人数(人) 34人	延べ参加人数(人) 101人	延べ参加人数(人) 9人	延べ参加人数(人) 9人	延べ参加人数(人) 10人	延べ参加人数(人) 5人						

# 流域モニタリング一斉調査結果（東三河地域）

## 1 背景

水循環再生行動計画では、水循環に対する県民意識の向上を図るため、気軽に参加できる水環境の調査として、「流域モニタリング一斉調査」の実施を位置付けています。

この一斉調査は、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成 19 年 7 月作成）を活用したもので、平成 21 年度から実施しています。水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待して行っています。

## 2 参加者公募状況

幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課）が平成 28 年 3 月に参加者募集の記者発表を行いました。

また、市町村には参加者公募の広報を依頼しました。36 の市町村が広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表 1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	チラシ	複数 (広報+チラシ等)	その他	合計
尾張地域	6 ( 8)	5 (5)	2 (2)	4 ( 5)	0 (0)	17 (20)
西三河地域	7 ( 9)	1 (1)	1 (1)	3 ( 6)	1 (0)	13 (17)
東三河地域	2 ( 3)	1 (1)	0 (1)	3 ( 2)	0 (0)	6 ( 7)
合計	15 (20)	7 (7)	3 (4)	10 (13)	1 (0)	36 (44)

※（ ）内は、平成 27 年度の状況を示す。

参考(平成 27 年度)	20 ( 3)	7 (1)	4 (1)	13 ( 2)	0 (0)	44 ( 7)
参考(平成 26 年度)	23 ( 3)	6 (1)	2 (0)	8 ( 1)	0 (0)	37 ( 5)

※（ ）内は、東三河地域の状況を示す。

< 広報参考例 >

広報がまごおり 5月号

広報しんしろ 5月号

### 3 参加の状況について

地域名	実施状況（平成 28 年度）			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	8（11）	62（63）	592（660）	89（88）
西三河地域	12（11）	52（55）	555（443）	87（106）
東三河地域	4（5）	8（9）	124（104）	20（19）
合計	24（27）	122（127）	1,271（1,207）	196（213）

※（ ）内は、平成 27 年度の状況を示す。

参考（平成 27 年度）	27（5）	127（9）	1,207（104）	213（19）
参考（平成 26 年度）	16（3）	120（5）	691（119）	146（10）
参考（平成 25 年度）	21（4）	103（4）	913（104）	141（11）
参考（平成 24 年度）	22（6）	141（9）	1,002（190）	230（14）
参考（平成 23 年度）	22（5）	134（5）	860（128）	256（14）
参考（平成 22 年度）	25（2）	103（9）	1,000（67）	210（12）
参考（平成 21 年度）	25（4）	83（7）	884（73）	287（8）

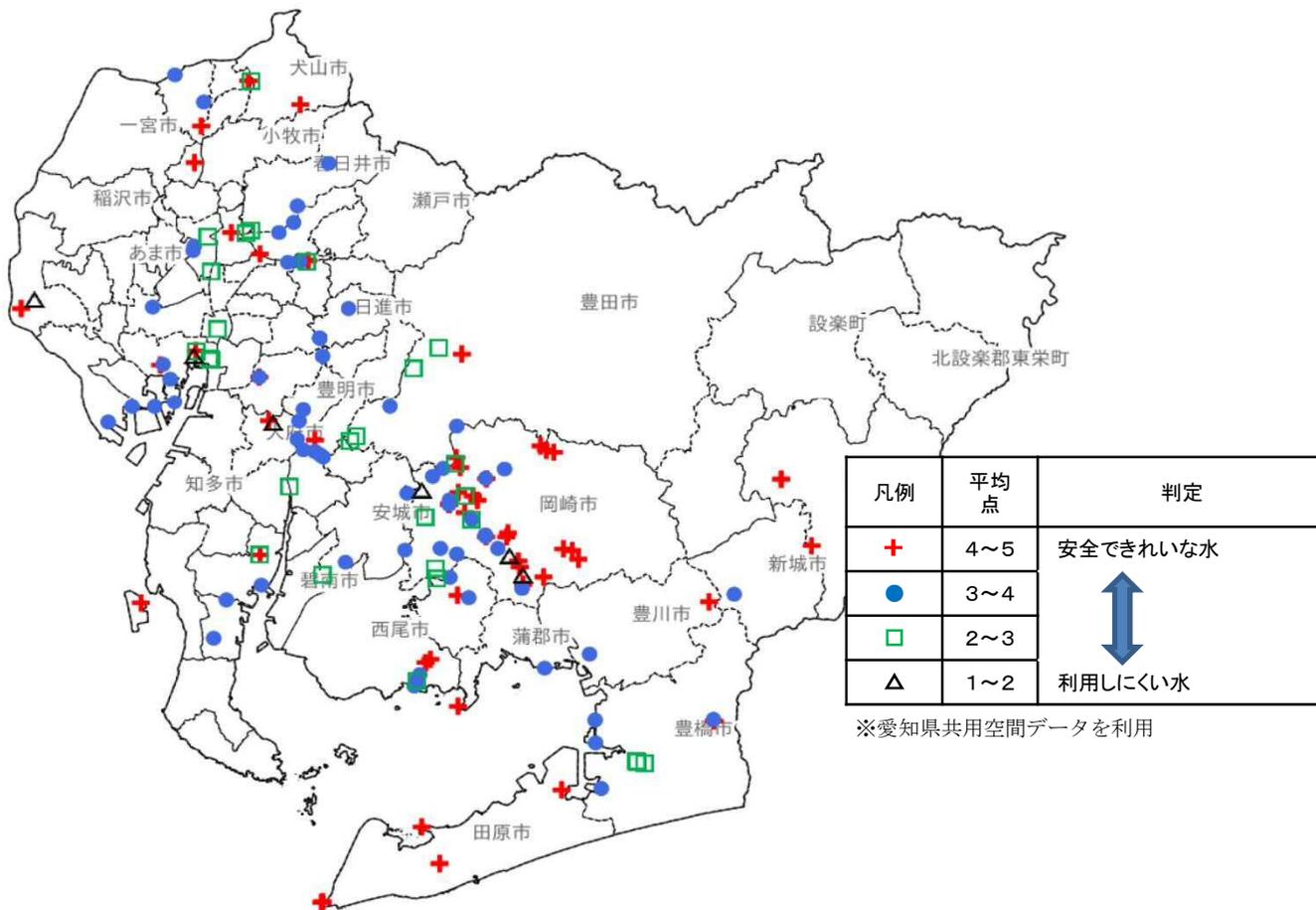
※伊勢湾流域圏一斉モニタリング（中部地方整備局）、水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市）の数値を含む。

※（ ）内は、東三河地域の状況を示す。

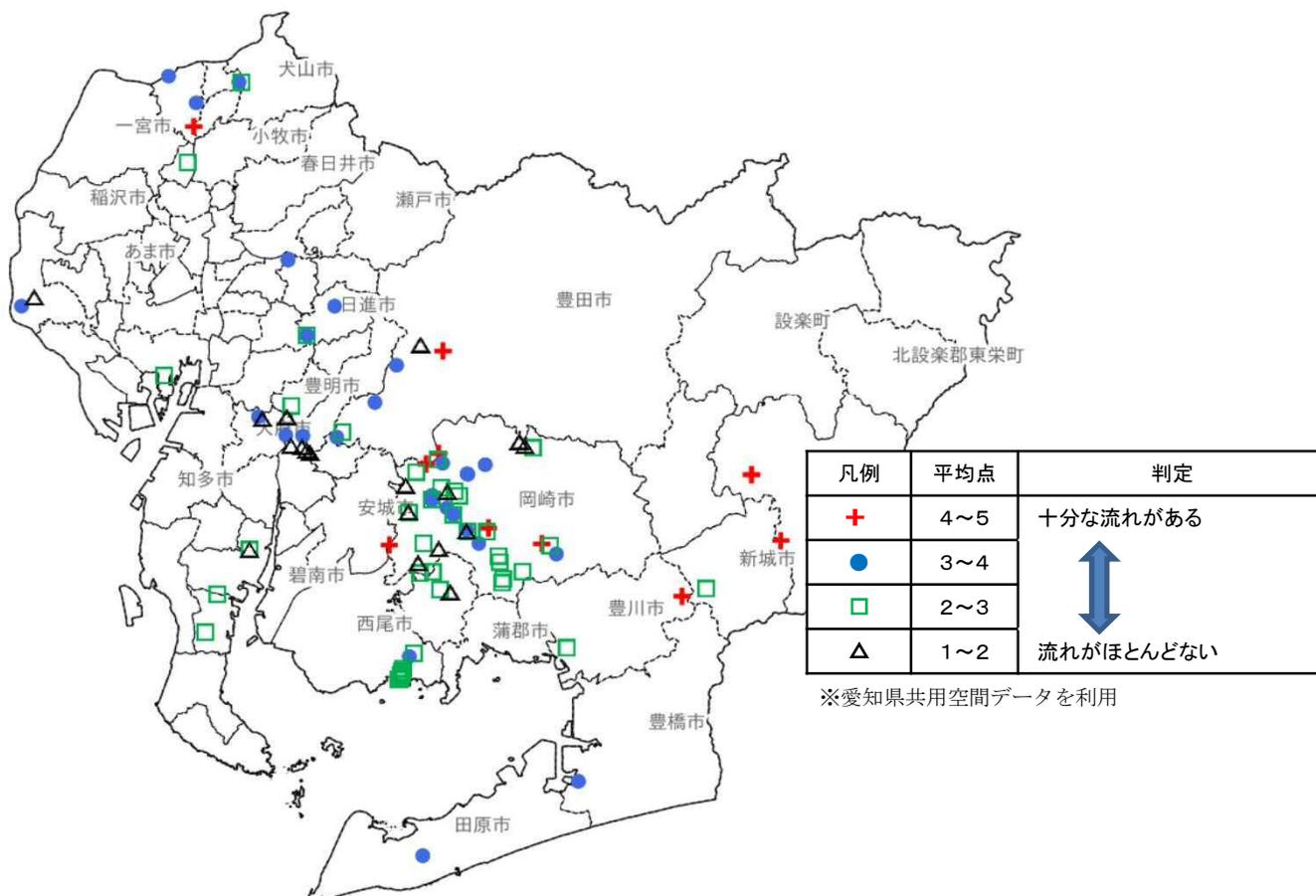
### 4 調査結果

- ・延べ参加人数（三地域の合計）は、昨年度より 64 人（前年度比 105%増）増加しました。
- ・尾張地域では、流量の大きい河川である木曾川・庄内川等流域において、東三河地域の豊川・天竜川等流域に比べ、やや評価が低い傾向が見られましたが、生物が豊かで、快適な水辺と感じられたとの声も多く寄せられました。
- ・西三河地域では、流量が大きい河川である矢作川等流域において、境川等流域や油ヶ淵等流域と比べ、全ての項目で評価が高い傾向となりました。
- ・東三河地域では、豊川・天竜川流域において相対的に評点が高く、項目ごとのバランスも良い結果となりました。相対的に流量が大きいほど水がきれいで、川の水量が安定しており、水辺への親しみやすさを感じているのではないかと推察されます。

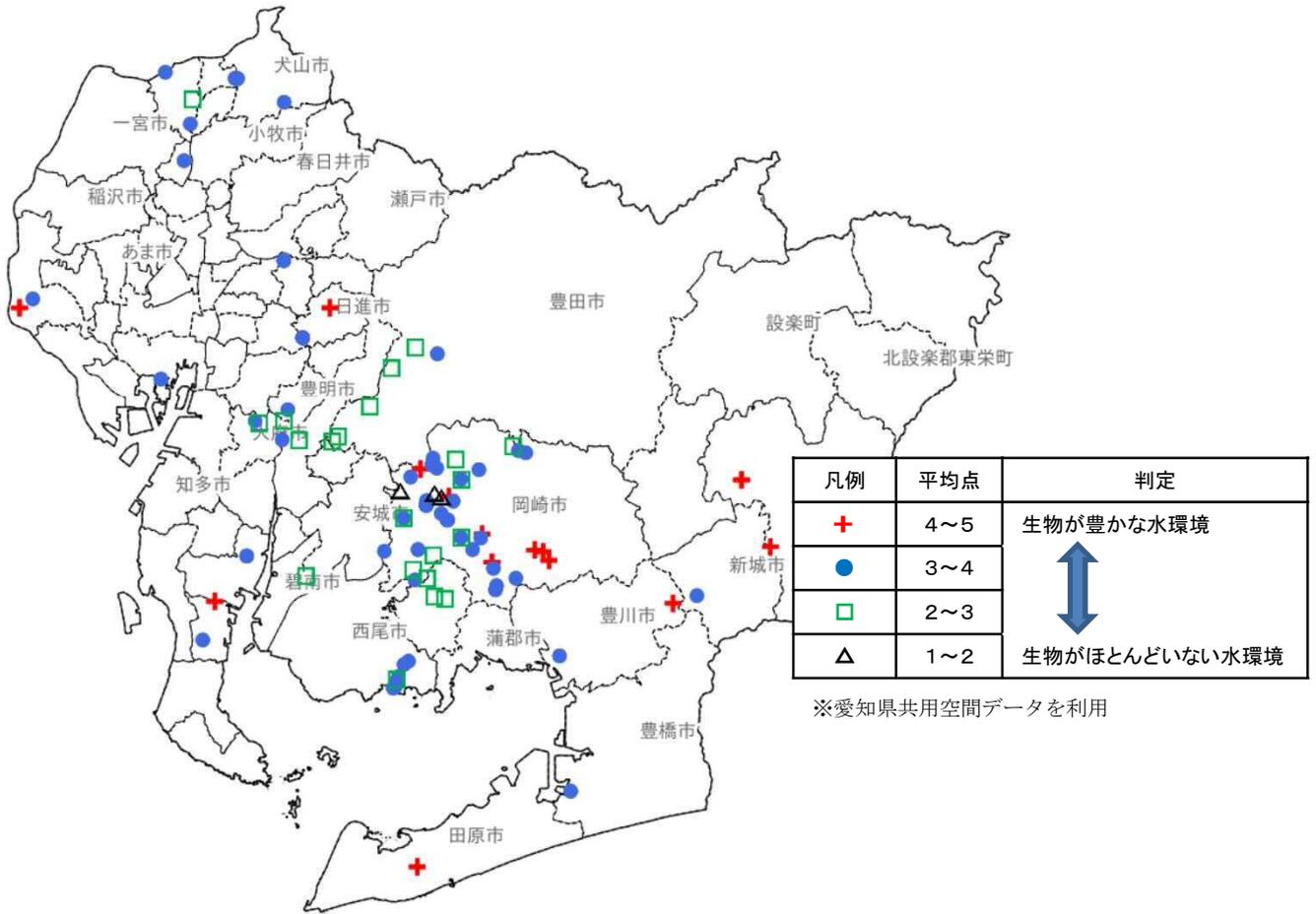
## 平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）



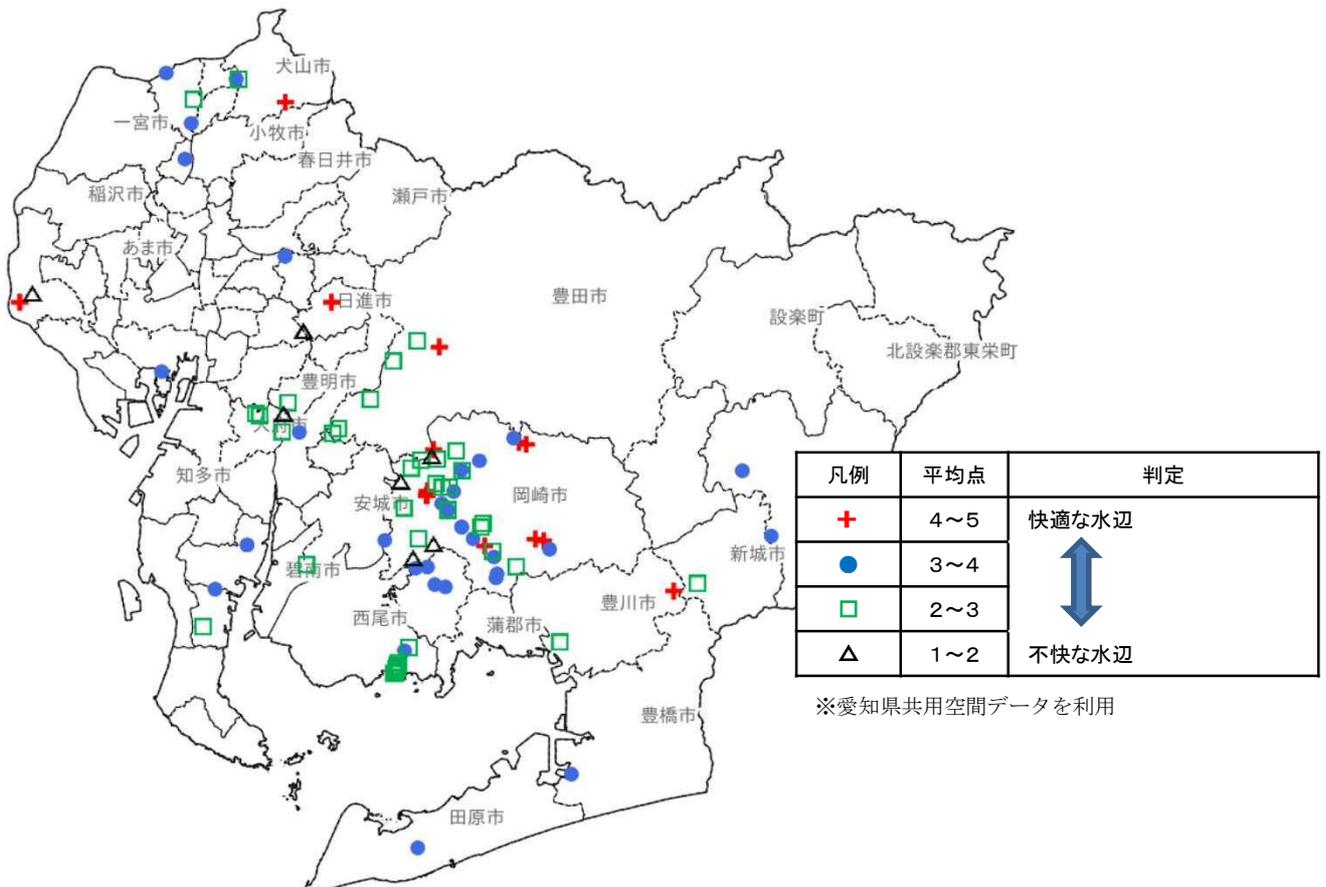
## 平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）



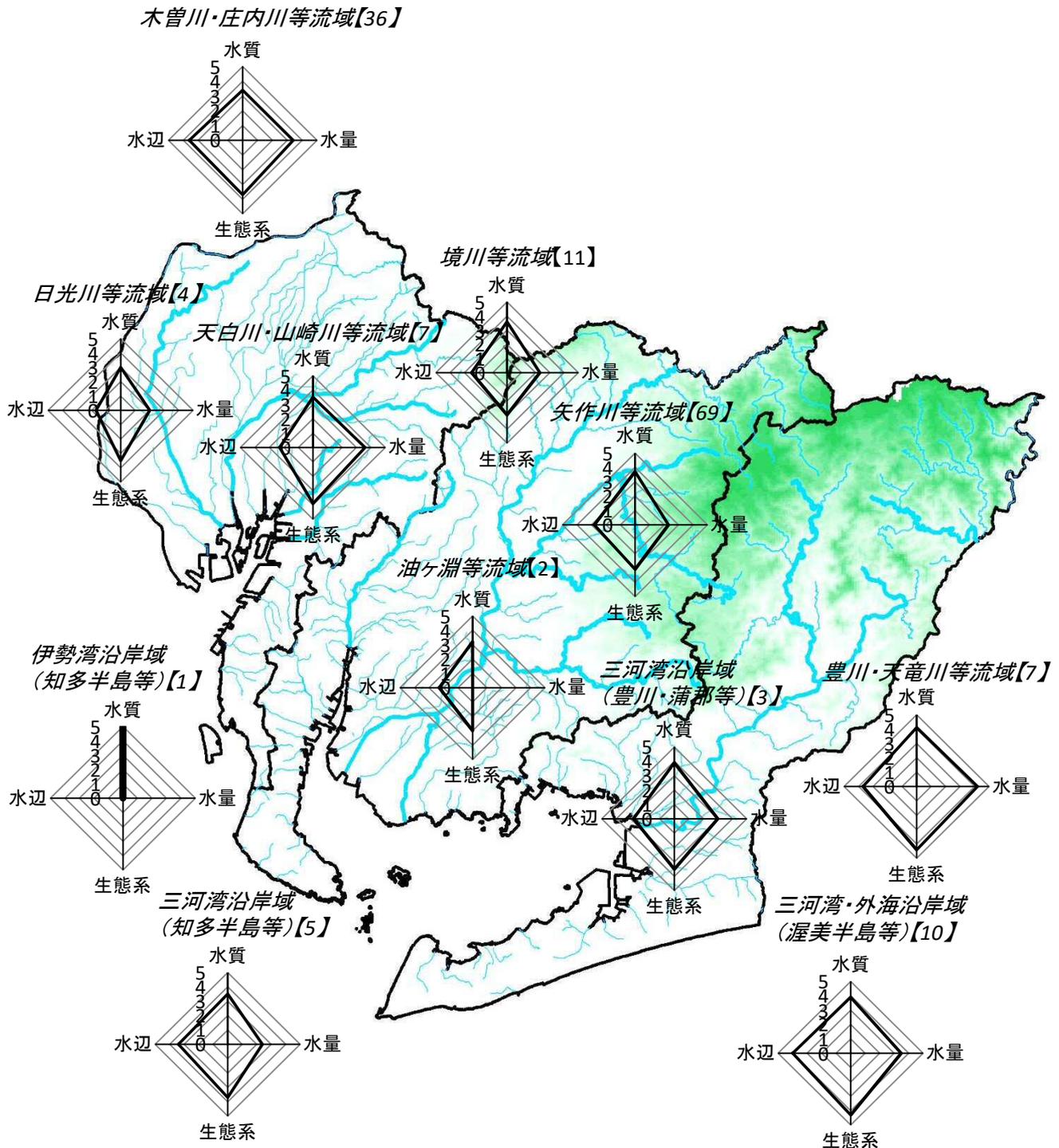
平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



平成28年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



※流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。  
 ※調査項目は参加者の任意であるため、伊勢湾沿岸域（知多半島等）は水質の評価のみ、  
 油ヶ淵等流域は水質、生態系及び水辺の評価となっています。  
 ※名古屋市実施の水質環境目標値市民モニタリングの調査結果は除いています。

## 水循環再生のための啓発活動の実績（平成28年度）

### 1 水循環啓発資材

環境学習などで「健全な水循環の再生」を説明する啓発資料として、パネル、パンフレット及びビデオを用意しております。

これらの啓発資材は、水循環の健全化に向けて、県民一人ひとりができることを考えてもらう内容となっております。

パネル等は貸し出し可能ですので、それらを利用して、各種イベント等において水循環再生のPRも併せて行うことができます。

#### ●水循環啓発パネル

- ・ 尾張・西三河・東三河地域の3地域共通の内容 3枚（A1版）
- ・ 各地域の内容 2枚（A1版）

#### ●とりもどそうよ！健全な水じゅんかん（パンフレット）

- ・ 水循環の大切さについて小学生がわかるようにまとめてあります。

#### ●水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル（A5版小冊子）

- ・ 水循環再生指標調査マニュアルは流域モニタリング一斉調査を行うため、写真やイラストなどを用いてまとめてあります。

#### ●水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル（概要版）

- ・ 水循環再生指標調査マニュアルをA3版にまとめた概要版です。ポケットサイズとなっております。

#### ●とりもどそうよ！健全な水じゅんかん（啓発ビデオ約14分）

- ・ 水循環について、循環のしくみや大切さ、健全な水循環を取り戻すための活動紹介についてまとめてあります。

### 2 啓発活動の実績

- 愛知県主催のイベント、愛知県の各県民プラザ、愛知県環境学習プラザ等において、パネルの展示及びパンフレットの配布を行いました。大型ショッピングセンター内においても啓発活動や、各団体のイベントと連携した啓発活動を行いました。
- 県内全体で、合計14箇所、延べ128日間啓発活動を行いました。（表1）

表1 水循環啓発活動状況

	展示場所	展示期間	日数
1	愛知県環境学習プラザ	6月1日(水)～6月30日(木)	30
2	ものづくり博in東三河 (豊橋市総合体育館)	6月17日(金)～6月18日(土)	2
3	干潟生きもの観察会in蒲郡 (竹島海岸)	6月18日(土)	1
4	イオンモール常滑	9月10日(土)～9月11日(日)	2
5	530のまち環境フェスタ (豊橋市公会堂)	9月17日(土)	1
6	愛知県庁連絡地下通路	9月20日(火)～9月30日(金)	11
7	愛知県知多県民相談室	10月11日(火)～10月21日(金)	10
8	愛知県庁本庁舎公開イベント	11月3日(木)	1
9	愛知県東三河県民相談室	11月14日(月)～11月22日(火)	9
10	愛知県西三河県民相談室	11月14日(月)～12月6日(火)	23
11	愛知県海部県民相談室	11月21日(月)～12月2日(金)	12
12	愛知県新城設楽県民相談室	12月5日(月)～12月16日(金)	12
13	愛知県県民相談・情報センター	12月12日(月)～12月18日(金)	11
14	エコプロ2016 (東京ビッグサイト)	12月8日(木)～12月10日(土)	3
計	14箇所	—	128



6/17~18 ものづくり博 in 東三河  
(豊橋市総合体育館)



9/10~11 イオンモール常滑



9/17 530のまち環境フェスタ  
(豊橋市公会堂)



11/3 愛知県庁本庁舎公開イベント

## 環境について考えて

17日、豊橋で「フェスタ」

環境について考える機会にしよう  
「530のまち環境フェスタ」が17日、豊橋市役所市民広場

などを会場に開催される。多彩な催しが繰り広げられ、主催する530(ゴミゼロ)運動環境協議会などは多くの来場を呼び掛けている。

「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に同

市で発祥した530運動。フェスタでは、午後0時半から、運動の普及、啓発役を担う530広報大使のシンガーソングライター・辻幸平さんと、フリーアナウンサー・いいたまきさんによるトークとライブが行われる。

フェスタは午前9時15分から午後3時。会場では、ごみ減量や省資源、省エネルギー、リサイクルなどを楽しみながら学べるブースが並ぶ。人気のリサイクル自転車抽選会は午後2時からあり、再生された約40台が用意される。

近くの市公会堂では、三河湾の環境再生に向けた取り組みなどを紹介する県による催しもある。

(中村晋也)

## 水循環再生行動計画（第2次）で実施した取組事例

（尾張・西三河・東三河地域で目標達成のために実施した取組）

（取組事例紹介から）